

## 油付き PET ボトルからの再生材料を 国内で初めて食用油商品の PET ボトルの一部に使用 ～油付き PET ボトルの水平リサイクルを実現～

日清オイリオグループ株式会社(本社:東京都中央区、代表取締役社長:久野 貴久、以下日清オイリオ)は、キューピー株式会社(本社:東京都渋谷区、代表取締役 社長執行役員:高宮 満、以下キューピー)との協働による成果として、国内で初めて油付き PET ボトルからの水平リサイクル(ボトル to ボトル)による再生材料を一部の商品に使用します。両社工場から排出された油付き PET ボトルの再生材料を 800g PET ボトル商品の一部に使用し、2026年3月から順次販売します。



※対象商品の一例です

[画像ダウンロード](#)

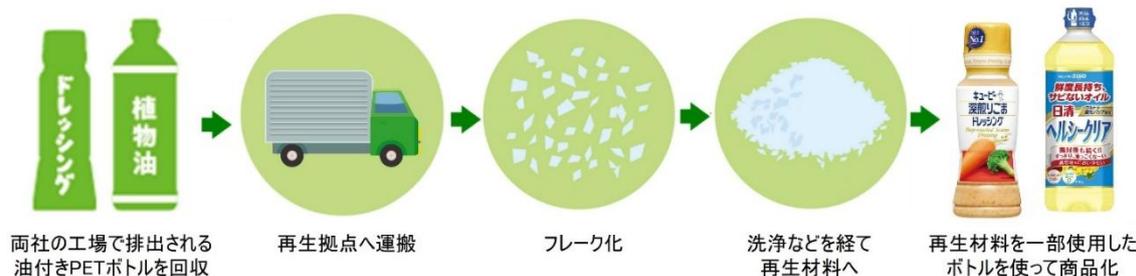
### 【油付き PET ボトルの資源循環に向けたこれまでの取り組みと今回の成果】

これまで、油が付着した PET ボトルは、リサイクルの洗浄工程で油が残り、再生材料の品質に影響を与える懸念から、リサイクルの仕組みが社会的に実装されていません。この課題に対し、日清オイリオはキューピーと2024年5月から協働を開始しました<sup>※1</sup>。長年油に向き合ってきた知見を生かした技術検証の結果、特定の資源循環スキームにおいて、油付き PET ボトルから再生した容器の品質に問題がないことを確認し、その成果が論文に掲載されました<sup>※2</sup>。

今回は、日清オイリオおよびキューピーの製造工場にて排出された油付き PET ボトルを回収し再生材料を作りました。その再生材料を一部使用して新しい PET ボトルを作り、再び商品としてお届けすることで、確実な資源循環の第一歩を踏み出します。

※1 [2024年5月23日付 ニュースリリース参照](#)

※2 [論文リリースの URL](#)



[画像ダウンロード](#)

### 【今後の展望】

今回の油付き PET ボトルを原料として使用した再生材料を、食用油 PET ボトル商品に利用する試みは、今後のプラスチックの資源循環の可能性を広げる取り組みです。これからも油付き PET ボトルから再び PET ボトルに戻す水平リサイクル(ボトル to ボトル)や、その他の用途に活用することの可能性について幅広く検討し、最適な資源循環スキームの構築を目指していきます。

### 【これまでのプラスチックへの取り組み】

2021 年度からスタートした「日清オイリオグループビジョン 2030」では、CSV 目標として、プラスチック容器・包装の削減と資源循環の推進を掲げ、①プラスチック使用量の削減、②リサイクル材・植物由来素材の利用推進、③リサイクルの仕組みの整備、を柱に取り組みを進めています。事業活動を通じて持続可能な社会を実現・発展させていくという目的のもと、地球環境に配慮した商品・サービスの開発、提供を目指し、これまでもプラスチックボトルの軽量化などプラスチック使用量の削減や、再生 PET、バイオポリなど環境対応素材の導入などに取り組んできました<sup>※3</sup>。

※3 [2025 年 9 月 4 日付 ニュースリリース参照](#)

[2024 年 9 月 5 日付 ニュースリリース参照](#)

[2024 年 7 月 11 日付 ニュースリリース参照](#)

[2024 年 1 月 16 日付 ニュースリリース参照](#)

[2022 年 8 月 24 日付 ニュースリリース参照](#)

### 【ご参考】

・当社ホームページ「プラスチックへの取り組み」

[プラスチックへの取り組み | 地球環境 | 6 つの重点領域 | サステナビリティ | 植物のチカラ 日清オイリオ](#)

・2024 年 11 月 28 日付 PR TIMES ストーリー

[「プラスチック課題の解決に向けて取り組みを続けてきた日清オイリオ。キューピーとの協働で PET ボトルの資源循環に挑む」](#)

リリースに関するお問合せ先：

日清オイリオグループ株式会社 広報部

TEL:03-3206-5109 〒104-8285 東京都中央区新川一丁目 23 番 1 号